

2024 年 11 月 22 日

中電工業株式会社

ドローンを活用した安芸太田町との 災害時における協定を締結

このたびドローンによる物資輸送等について安芸太田町と災害時における協定を締結しました。

当社では年間約 800 基を超える規模の送電鉄塔塗装工事の施工を行っていますが、送電線鉄塔の大半は山間部に位置しており、遠いところでは徒歩で片道 2 時間以上かかる現場もあり非常に多くの労力と時間を費やしています。また、山道は整備された道と違い歩きにくく、転倒の危険も伴うことから山道での運搬作業は極めて過酷な労働であり、長年にわたり大きな課題でした。そういった背景から安全面を含めた働き方改革・労働環境の改善の一環としてドローンを 2023 年度から本格的に現場で活用しています。ドローン導入から今日までの通算 3,500 フライト以上、飛行時間に換算すると 350 時間以上の飛行実績があり、無事故で実施しています。

今後はこの実績と技術の応用により災害発生時においても物資輸送等で貢献できると考えています。

【2024 年 11 月 22 日に安芸太田町役場で行われた調印式の様子】

左：当社 代表取締役 石井浩一 右：安芸太田町 町長 橋本博明 様



【2024 年 11 月 22 日に安芸太田町役場前で行われたデモフライトの様子】



■代表コメント

安芸太田町 町長 橋本博明 様

安芸太田町は山あいの地形なので道路が寸断されると物流が難しく、孤立した集落に物資輸送をどのように支援していくか大きな課題である。ドローンがあれば地形に関係なく救援物資を届けられる。とても心強く、大変期待している。

中電工業 代表取締役 石井浩一

これまで何時間も掛けていた運搬作業がドローンを使用することにより数分で行うことができるようになった。

今後、万一の場合は孤立した集落に救援物資を届けるという重大な使命を担うことになるが、これまで培ってきた技術・ノウハウにより社会貢献していきたい。そして、これにかぎらず様々な場面で活躍したいと考えている。